

林間はぼくらの教室だ

豊かな自然の中で
学びます

地域に根ざし、
地域と共に歩みます

少人数を活かして
学力向上を図ります

みどりの少年団
結団式

アンネのバラボランティア交流

一人1台のiPadを
活用しての学習

活動しやすい林間へ
自分たちの力で
林間整備作業

社会科「農家の仕事」
校外学習

一人一人が体験する
理科「ものの燃え方」の学習

林間と親しむ日
協力してカレー作り

絵本贈呈式

森の教室を利用して
蝶の学習

自然(林間)に親しみ、豊かな心を育て、自己肯定感を高めます

学校見学・授業参観・学校体験
お気軽にお問い合わせください

伊那西小学校

TEL.0265-72-2632

伊那市教育委員会 学校教育課

TEL.0265-78-4111



伊那市立伊那西小学校

〒396-0027 長野県伊那市ますみヶ丘6949番地2

TEL 0265-72-2632 FAX 0265-72-3145

E-mail: inanishi@ina-ngn.ed.jp



小規模特認校紹介ページ



学校と地域が一つになって

PTA

の声

伊那西小学校は、全校児童が70名に満たない小規模な学校です。校舎のすぐ隣には、子どもたちが「林間」と呼び親しむ学校林があり、教室だけでなく林間を活用した学びが広がっています。

子どもたちは学年をこえた縦割りの班活動を通して、名前でも呼ぶ関係構築しながら活動しています。上級生が下級生を気にかけて、下級生はその姿を見て育ちます。担任だけでなく、すべての教職員と関わりながら学べることも、この学校ならではのあたたかさです。

林間では、マイツリーの観察、絶滅危惧種の蝶の学習、米作り、間伐体験など、自然と向き合う学びが続きます。熊の出る地域のため、身を守るための熊学習も行われています。

地域とのつながりも深く、運動会や総合展などの行事は地域の皆さんと合同で行われ、子どもたちは多くのまなざしに見守られながら安心して学んでいます。ぜひ一度、伊那西小学校の雰囲気を感じに来てください。

伊那西小学校PTA会長 澤西 光子

在校生

の声

伊那西小学校は他校と比べ、学校から歩いて約10秒のところに「林間」があります。

全校68人の小さな学校なので学年関係なく、休み時間には鬼ごっこやかくれんぼ、夏は虫取り、冬は雪遊びなど、季節ごとに色々な遊びができます。授業や行事でも林間を使い、山菜採りや筍掘り、しいたけの菌打ちなど季節に合わせて活動しています。特に「林間と親しむ日」には、縦割り班でレクをしたり、みんなで協力してカレーを作ったりします。林間マラソンやコース整備も行っています。僕が林間で一番楽しかったことは、理科の時間に6年生のみんなでラーメンを作って食べたことです。

伊那西小学校は全校が少ない小さな学校なので、学年に関係なくみんなが仲良しです。1年生から6年生まで、休み時間には一緒に遊び、行事では力を合わせます。学年ごとにすごいところがあります。上級生から下級生までが助けあい、親しく話ができるところが、この学校のよいところです。自然の中で学び、全校のみんなが家族のように関われる伊那西小学校を、僕はとてもすてきな学校だと思います。

令和8年度 児童会長

林間にて～体験を大切に、伊那西小でしかできない学び～

青空と緑のもと全校が林間に集う



林間内を駆け回る1年生



卒業生

(社会人)

の声

私が伊那西小学校を卒業したのは、40年以上も前の昭和55年です。当時は、現在より在校生が多く、一学年20人前後、全校で約130人でした。児童は、6地区(小沢・平沢・横山・ますみヶ丘・大坊・内の萱)からの児童で、他地区からはいなかったと思います。それでも運動会の行事等を1年生から6年生全員で行っていたので、全児童顔見知りで、いろいろ話したり、一緒に遊んだりした覚えがあります。先生方も、全児童数が少ないため、一人一人の児童のことを細かく知っておられ、全員と一度以上は話したことがあったと思います。従って伊那西小学校は少人数であることで、一人一人の児童に、先生方や保護者の目が届きやすく、基礎学力や生活の基礎を築くことが出来、賢い素直な子供ばかりだったと思います。このことはその後、中学に進学し、他の小学校の卒業の生徒との生活で感じました。

そして、当校には唐松林の学校林(林間)が校内にあり、現在もあります。毎年、みんなで低学年から高学年までマラソンコースを整備して、それぞれのコースを走って距離を記録・競走したり、マラソン大会をしたりしました。林間を走るのには、疲れましたが、高学年になるにつれて速く長く走れるようになり、体が鍛えられる気がしました。こうして、小さい頃から森林の樹木の中を日々走って鍛えていたお陰で、その後成長してからも、持久力等が養われ、中学・高校と私の野球等各種のその後の運動系部活動を継続するのに、怪我無く続けられた身体の礎になったと思われるます。

さらに林間では、毎年全校参加で、カレーライスを作って食べる会を行い、みんなで手分けして、かまどを作って、飯盒でご飯を炊き、カレーを大きな鍋で作りました。その時食べたカレーライスの美味しい味は、今でも覚えています。

これからも、伊那西小学校には、他地区からの児童も受け入れたりしながら、少人数だからこそ出来る、一人一人の児童にきめの細かい目の行き届いた教育を続けていくこと、また貴重な「林間」という自然遺産を、上手く活用し維持して欲しいと期待しております。私も出来る限りのご協力をさせていただきます。最後に、我が息子も現在在学中であり、学校で様々な貴重な経験・学習をさせていただいていることに感謝申し上げます。

昭和55年度卒業生 辻元 和明

校長

の声

「日本一学校林が近いところにある学校です」とは、学校見学に訪れる方々にお伝えするキャッチフレーズです。ベランダを歩くと目の前に広がる伊那西小学校の学校林は、子どもたちのくらしと学びが融合した生活の場所である一方、日本の屋台骨といえる中央アルプスから続いている森林地帯の末端の地でもあります。子どもも大人も昔から「林間」と呼んで親しむ本物の自然に触れることができるこの空間には、タラノメやコシアブラ、野いちごなどの季節ごとの味、カブトムシやクワガタ、さらにミヤマシジミやカタクリなどの希少な個体やムササビやアカゲラ、キツネなどの使者が一緒になって私たちを見守っています。

一人一人の個性を大切に、豊かな自然と親しみながら、主体的・探究的に学ぶことができるのが伊那西小です。本物の自然に囲まれながらじっくり学んでみませんか？

伊那西小学校長 有賀 大

小規模特認校とは？

「豊かな自然の中での活動をたっぷりさせたい」「少人数の学校で子どもを学ばせたい」といった、「特色ある教育環境を活かして、一人ひとりの個性を尊重し、明るく伸び伸びとした教育」を保護者が希望した場合に、一定の条件のもとに校区を越えて入学・転学が認められた学校です。

小規模特認校への入学・転入学には申請手続きが必要です。